

# 至誠館大学

科目名	芸術文化論			コード			
英語表記	Arts and culture						
担当教員名	古根川 円・石川正一			年度	平成28年度		
基準年次	1年	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択		
授業概要							
我々は日常生活の中で、「芸術」や「文化」という言葉をよく耳にします。しかし、その意味が何かといえば、なかなか難しいことに気付くはず。この授業では人間の音楽(聴覚)や絵画(視覚)表現について考察し、今を生きる自分自身を見つめてみたいと思います。							
到達目標							
芸術や文化の成立過程に触れることによって、特に音楽や絵画に興味や関心を持つ。また、同時に芸術文化に対する涵養を図る。							
第1回	オリエンテーション						
第2回	言葉はなぜ生まれたのか						
第3回	始まりは歌だった						
第4回	情動から歌が生まれた						
第5回	感情と情動						
第6回	つながるコミュニケーション						
第7回	つながるコミュニケーション 制作と練習						
第8回	つながるコミュニケーション 発表と討議						
第9回	絵画の歴史を覗いて見る・・・西洋美術史を中心に						
第10回	美を比べてみよう① ギリシャ彫刻とガンダーラ美術、そして日本の仏像						
第11回	美を比べてみよう② ベルサイユ宮殿と拙政園、そして桂離宮						
第12回	美を比べてみよう③ 鳥獣戯画と浮世絵、そして漫画						
第13回	「美しいもの」と「醜いもの」その境界にあるものを見つける						
第14回	人間の表現を考える・・・原始美術と子どもの絵画						
第15回	まとめ 表現と時代精神、そして未来を見つける						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
芸術や文化に対する自分なりの考えを持つことができたか。出席とレポートで評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			20	20	60		
授業外学習			テキスト、教材				
毎回課題を出しますので、レポートを提出する。			随時資料を配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
随時紹介する。			音楽や美術が苦手な人も受講して下さい。きっと音楽や美術と同様に人間に興味を持てるかもしれません。				
キーワード							
言葉 歌 コミュニケーション 美 表現 時代精神							